

第22回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in大阪で健育会グループより、 4演題が優秀演題に選ばれました

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



先日、11月22日～12月4日に第22回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in大阪がオンライン配信で開催されました。

「医療の改善活動」は、一般社団法人 医療のTQM推進協議会が推進している活動です。患者さんやご利用者（顧客）のニーズを満たす医療（製品）やサービスの提供を目的とし、様々な手法を使ってプロセスやシステムの改善をする活動のことです。

毎年、全国大会が開催されます。2019年の第21回in仙台では、石巻健育会病院が幹事病院をつとめました。（理事長トークvol207）昨年は新型コロナウイルスの影響により開催が見送られましたが、今年はオンライン配信で開催されました。

健育会グループからは、合計10演題（7病院3介護施設）の発表を行い、そのなかから4演題（石巻健育会病院、いわき湯本病院、ケアポート板橋、オアシス21）が、各セッションの優秀演題に選ばれました。

優秀演題の詳細は以下の通りです

●優秀演題

病院施設名	チーム名	演題名	発表者
石巻健育会病院	つなぐWA!	当院における病棟から外来への退院前看護申し送り実施率の向上	遠藤千恵
いわき湯本病院	褥瘡撲滅隊	入院患者における月平均の褥瘡発生数の減少を目指して	小野雄太郎
ケアポート板橋	ケアポジション	特別養護老人ホームにおける ポジショニングの実施率の向上	太田博史
オアシス 21	超強化型老健の役割って何だろうパート3	強化型老健における新スタイルの生活リハビリ定着率向上	糟谷三千子

この度、優秀賞を受賞したケアポート板橋とオアシス21からは、演題を発表した職員より直接、今回の発表の内容の報告を受けました。

【オアシス21】



【ケアポート板橋】



いずれの演題も今年2月に開催したグループ内のTQM発表セミナーで発表された演題で、いわき湯本病院の発表は最優秀演題を受賞したものでした。また受賞した病院施設は、長年に渡りTQMの取り組みを継続しており、その成果がこういった形として現れてきたことをうれしく思います。

次回来年2月開催の第16回健育会グループTQM発表セミナーでは、初めての試みとして医療の改善活動に長年にわたって取り組んでいる熟練組とまだ取り組み期間が短いフレッシュ組に分けて演題を発表し、それぞれのセッションで優秀賞を選定することになっています。

この業務改善の取り組みは、1997年の合同事例発表大会に始まりTQM発表セミナーに至るまで、グループの研究発表の中でも最も歴史がある取り組みです。まだ取り組み期間が短い施設は、継続した取り組みを積み重ねることで、今後レベルアップを図って欲しいと思います。